

CASBEE®新潟 | 評価結果 |




- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	サーパス営所通 新築工事 <small>新潟県新潟市中央区営所通二番町709番1、中央区旭町通二番町724番1</small> 近隣商業地域、準防火地域 集合住宅 2021年10月 竣工 889.49 m ² 321.29 m ² 3,046.89 m ² 地下1階、地上12F RC造 実施設計段階評価 2019年12月4日	
---	---	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{53.0}{33.9} = 1.5$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.2		バリアフリー計画	Q2.1.1.3 3.0
			維持管理	Q2.1.3 3.5
			設備の更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.9		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 2.8
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1 4.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.7		節水	LR2.1.1 3.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4 3.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	3.5		生物環境の保全と創出	Q3.1 3.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 4.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

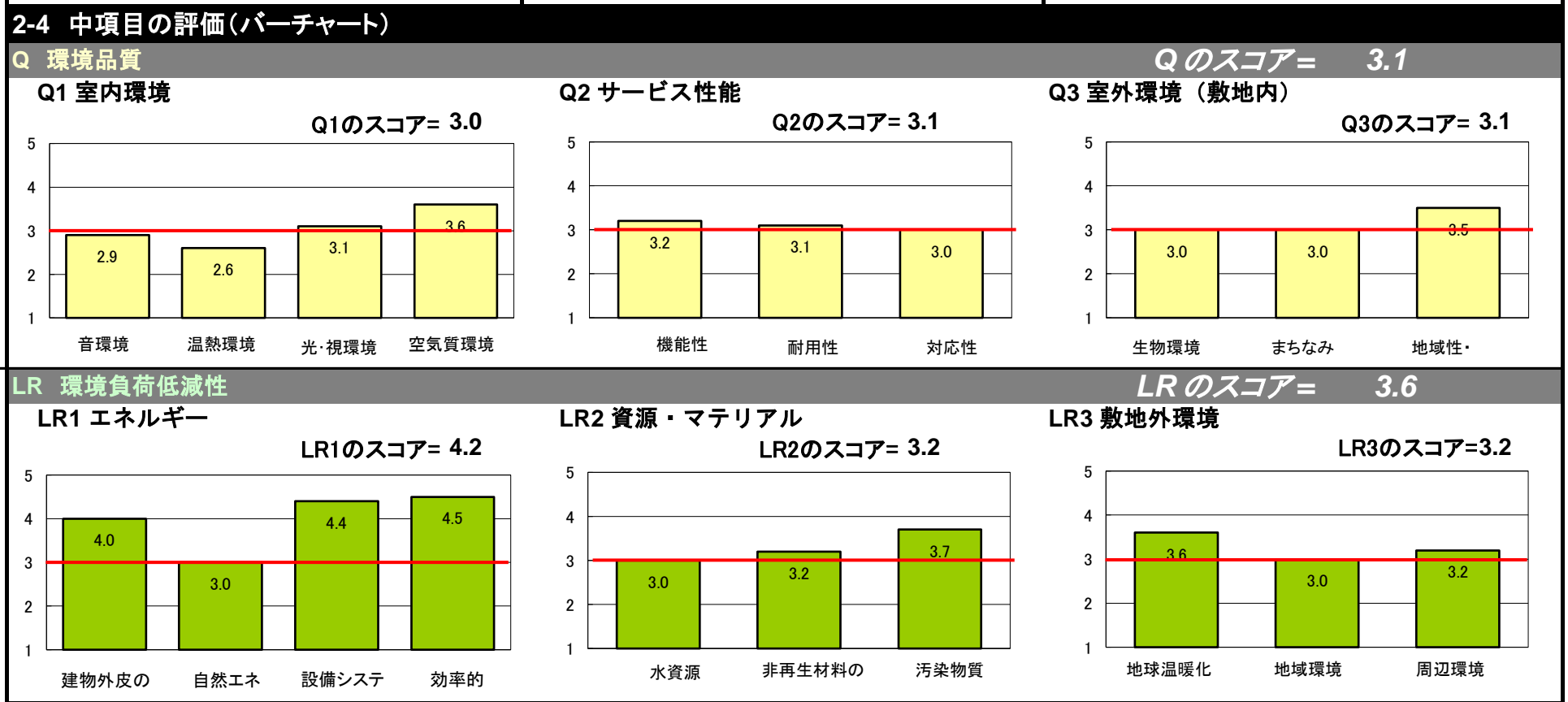
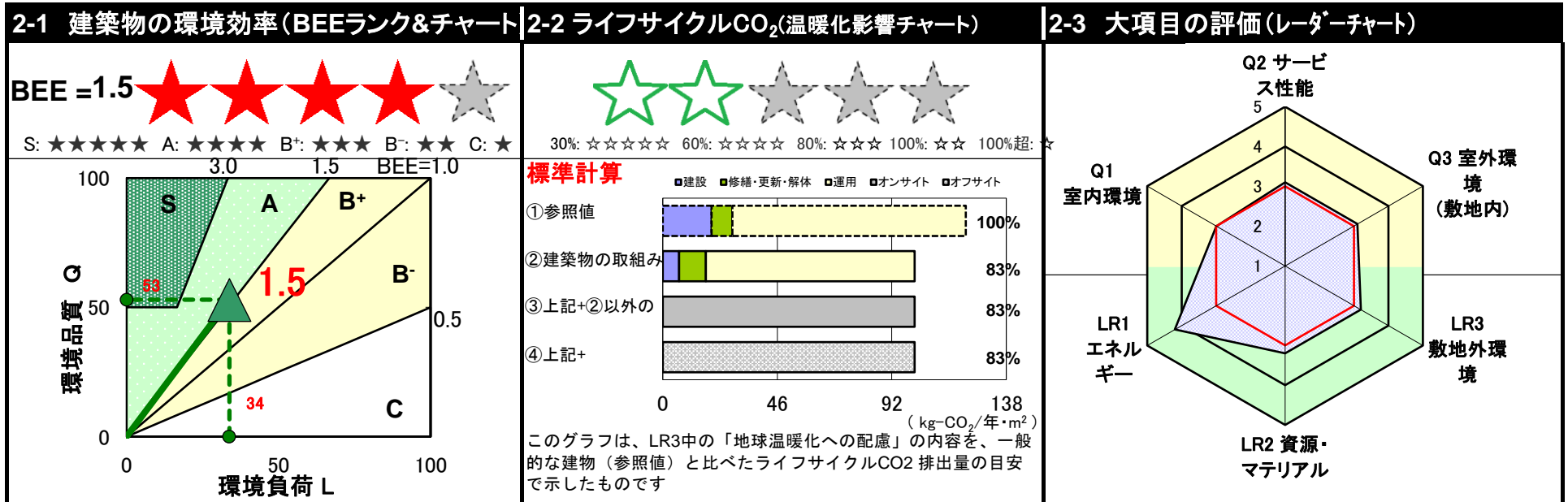
- 住宅性能表示制度の劣化等級3を確保し、建物の長寿命化に配慮した。
- 住宅性能表示制度の省エネ等級4を確保し断熱性能の向上により建物の熱負荷抑制に配慮した。
- 内装を乾式工法とし、PS・天井内・床コログシ配管により設備との錯綜を回避することで、部材の再利用の可能性を高めている

CASBEE®新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	サーパス営所通 新築工事	階数	地下1階、地上12F
建設地	新潟県新潟市中央区営所通二番町709番1、中央区旭町通二番町724番1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	121 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年10月 竣工	評価の実施日	2019年12月4日
敷地面積	889 m ²	作成者	菱崎 嘉昭
建築面積	321 m ²	確認日	2019年12月4日
延床面積	3,047 m ²	確認者	菱崎 嘉昭



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
落ち着いたある良好な住環境が得られる様に計画した。閑静な住宅街の街並みと調和しながらその存在感を静かに主張するファサードとした。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
断熱性能を省エネルギー対策等級4とし、外皮性能に配慮。F☆☆☆☆の内装建材を採用し、室内空気環境に配慮している。	躯体は劣化対策等級3相当とし、設備は耐用年数の長い配管材を採用し建物の長寿命化に配慮している。	敷地内の日照・植栽条件に応じた中高木および緑地を設け、良好な緑地環境に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
断熱性能を省エネルギー対策等級4相当、潜熱回収型給湯器、LED照明設備を採用することで省エネルギーに配慮している。	主要水栓に節湯C1、便器を節水型とし節水に配慮。P S、天井内配管等により設備との錯綜を回避し、部材の再利用の可能性を高めている。	ライフサイクルCO ₂ 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される